中大泉

「人は学ぶ」
「人は変わる」
「人は輝く」

１月号
令和５年１月２６日
発行者　新村　紀昭
編　集　菊池　知裕

環境を整える

学びを高めるために

令和4年度の締めくくり、3学期がスタートして2週間が経ちました。各学年とも落ち着いた学校生活を送ることができています。今年の干支は「癸卯（みずのとう）」。「癸」は雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しており、十干の最後にあたる「癸」は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しているそうです。そして、「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味や、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われているようです。

60 年前の前回は、連続テレビアニメとしては日本初、手塚治虫氏の『鉄腕アトム』が 30 分番組として放映が開始された年、初回は 27.4%と高視聴率を記録。翌年の 1964 年 8 月には 40.7%の最高視聴率を稼いだ人気番組で、この視聴率はアニメ番組としては史上最高記録を達成し、未だ破られていないそうです。

さて、皆さんはホンダという自動車会社を知っていると思います。テレビのコマーシャルでもよく目にする、自動車だけではなくオートバイや飛行機なども作っている会社です。

このホンダの創業者 本田宗一郎氏がホンダの作業着を白色に決めた時の有名な言葉があります。その言葉とは「汚い工場からはいい製品は生まれない」という言葉です。ホンダのホームページには次のような文書が掲載されています。

『作業衣を白にする。これは社長の発案です。「環境がよくなけりゃ、働く意欲も落ちる。汚い工場からいい製品は生まれない。だから、作業衣は白がいいんだ。白は汚れが目立つ。それができるだけ汚れないように、きれいな工場にしなきゃいけないんだ」と言って、工場の内部も工作機械も、グリーンのツートーンに塗り替えてしまった。トイレも水洗で白のタイル張り。雰囲気が変わると、われわれの気分も変わります。機械の手入れを自然とやるようになった。油汚れなんかが気になるようになった。』

この「汚い工場からはいい製品は生まれない」という言葉は、工場に限らず、身の回りの環境を整えることや美化に努めることが、人間の心に、どれだけ影響を与えるかを言い表していると考えます。大中でも、原則、毎日清掃活動を行い、美化委員会も環境美化について一生懸命に呼びかけたり週番活動などに取り組んだりしていますが、学校評価（生徒自己評価）で、「◎よくできている」は、42%にとどまっています。

汚い机ではよい仕事や学習はできません。私たち教職員も職員室等の環境整備をできるところから始めています。皆さんには、まず自分自身の身の回り、ロッカーなどの整理整頓を心掛け、廊下や階段の掲示物、牛乳パックのすすぎや乾燥のさせ方、部活動で使う場所や倉庫などの環境整備について、もう一度見直してほしいと思います。

汚い教室から豊かな学びは生まれない、散らかった練習場所や倉庫から強いチームは作れない、汚い学校から思いやりの心は育たない。年頭にあたり、新たな気持ちで環境を整え、心を整えて学校生活を充実させましょう。　　（3学期始業式講話より）

保護者・地域・関係者の皆様、本年も本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

スキー移動教室を終えて　1月17日（火）～19日（木）　　松浦　直人　主任教諭

スキー移動教室の目標は2点ありました。1点目は「規律ある集団生活を送る」、2点目はスキー実習を通して都会では味わえない「喜びや達成感を味わう機会とする」でした。まず、1点目の「集団生活」では、移動教室期間中、指導を受けた場面もありましたが、頑張って生活をしました。250人が集団生活を送るには、コロナ禍であろうとなかろうと、各自がルールの下で行動する、また、係活動もしっかり行わなければ成立しないことを改めて理解したと思います。移動教室だけでなく、今後も集団生活は続くので、よくできたことを継続し、第2学年としての集団の質を高めてもらいたいと思います。2点目の「喜びや達成感を味わう」については、この短時間で長足の進歩を成し遂げた生徒の頑張りには本当に驚きました。ところで、スキーの上達には幾つか理由がありました。まず、生徒の意欲と頑張りです。最初は不安な生徒が多かったと思いますが、あきらめることなく、「上手になりたい」という気持ちが「不安」を上回った結果、上達につながりました。そして、生徒の頑張りに応え、熱心に指導してくださったインストラクターの方々です。生徒の熱意が伝わり、より親切、丁寧に指導していただきました。その成果が最終日の練習に表れ、より上達したと思います。生徒の頑張りとインストラクターの指導が合わさって、目標である「喜びと達成感」を十分味わうことができたと思います。

このように、スキーでも勉強でも部活動でも、上達する一番のコツは、「あきらめないこと」「アドバイスを素直に受け入れること」だと考えます。アドバイスに対して、「言い訳」から入る人をたまに見かけます。その「言い訳」を「質問」「疑問」という形に変えてみると、自然と素直にアドバイスを受け入れられ、力がついてくると考えます。移動教室を通して学んだ様々なことを、ぜひ、これからの学校生活に活かしてもらいたいと思います。

＜生徒のお礼状より＞

〇運転手さん、運転本当にありがとうございました。３日連続でバスを運転することはとても疲れたと思います。しかし３日連続でもとても安全でバスにも酔わない運転をしてくださいました。ガイドさんの窓外の景色についての歴史などの説明、元気になる言葉かけ、私達も頑張ろうと思えたお話、ありがとうございました。コロナ禍でバス内での会話ができない中、私達が楽しめるように映画や音楽を流してくださり、本当にバス内でも楽しむことができました。最後に教えていただいたyoutube、旅行に行きたいなと思ったときに家族みんなで見ようと思います！

〇スキー教室の３日間、私達のために様々なことをしてくださり、本当にありがとうございました。スキーの道具の準備や食事の準備など、ベルデの方々のおかげで私達はとても楽しい３日間が過ごせました。朝昼夜、毎回おいしい食事をいただくのも一つの楽しみでした。また、スキーの行き帰りも毎回見送りや迎えに来てくださり、本当に支えていただいていると実感しました。本当にありがとうございました。